

平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

シェムリアップ州アンコール小児病院人工呼吸器設置計画 供与式典開催

10月29日（水）草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「シェムリアップ州アンコール小児病院人工呼吸器設置計画」（供与額限度額：114,314米ドル）により供与された人工呼吸器4台の供与式が、シェムリアップ州にあるアンコール小児病院で開催されました。右式典には、日本国大使館から與那嶺書記官が、アンコール小児病院からはウィリアム・ハウスワース院長、ンゴオン・チャンピアクトラ副院長、ンガエ・ピセツ医長が出席して祝辞を述べるとともに、同病院関係者約50人が参列しました。

本案件は、アンコール小児病院に4台の人工呼吸器を設置することで、国内各州から来院する小児患者に提供する医療サービスの質の向上を図ると共に、重篤な疾患を抱えた小児患者の死亡率削減に貢献することを目的として、2014年3月に贈与契約が結ばれ、この度供与式典の運びとなりました。

式典で與那嶺書記官は、「カンボジア政府は、パリ和平協定以後、医療保健分野において継続的な改善に努められてきた。しかしながら、カンボジアの保健指標は他の周辺諸国に比べ、依然低い状況にある。本案件で供与した4台の人工呼吸器により、多くの子供たちが高度な医療サービスを受けられるようになることを望み、また本案件がカンボジアと日本のさらなる友好関係促進に寄与することを願う。」と述べました。ンガエ・ピセツ医長は、「同病院は、過去にも様々な形で日本から支援を受けてきた。この度供与された人工呼吸器についても、多くの小児患者を助けるだろう。カンボジアにおいて支援を継続している日本国民及び政府に対して感謝の意を表す。」と述べました。続いて、ンゴオン・チャンピアクトラ副院長が與那嶺書記官に感謝状を授与した後、式典は終了しました。



①ンゴオン・チャンピアクトラ副院長から與那嶺書記官への感謝状授与の様子



②ウィリアム・ハウスワース院長と與那嶺書記官



③ 與那嶺書記官スピーチ



④ ンガエ・ピセツ医長スピーチ



⑤ 本案件で供与した人工呼吸器 4 台



⑥ 病院関係者との写真